

## 会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会第2回定例会
開催日時	平成16年5月26日（水曜日） 18時32分から20時13分まで
開催場所	イングビル第3・第4会議室
出席者	会長：下栗庸隆 委員：細井邦夫、濱崎昌子、内山由之、武田雅子、関谷大博、米村博子、米澤千鶴、富澤佳代子、野崎佳宏、竹内敏子、北岡和彦 職員：島崎館長、近藤事業係長、小倉分館長、長谷部分館長、玉木分館長、古瀧分館長、上野分館長、藤森公民館主事、村上公民館主事
欠席者	副会長：西谷征一 委員：木村俊二、水野教雄、仲川準、矢口正孝、遠山久敬
議題	(1) 公民館運営審議会第1回会議録について (2) 行政報告 (3) 今後の審議内容について (4) 次回の日程について
会議資料の名称	(1) 事業計画書 (2) 公民館運営審議会の審議について（案） (3) 講師派遣事業要綱 (4) 講師派遣事業の手引き
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>(1) 公民館運営審議会第1回会議録について ※特に問題なし</p> <p>(2) 行政報告</p> <p>1. 委員の退任について</p> <p>○館長： 内田稔委員から退任届が提出された。4月30日付退任の手続きをした。</p> <p>2. 住吉公民館移転問題</p> <p>○館長： 5月23日に住吉公民館で市民47人の出席のもと、移転に関する説明会を行った。 館側の説明に対して、移転の撤回を求める市民の声が多く、市の考えを理解してもらうには至らなかった。再度の説明会の開催を約束し、2時間に及ぶ質疑を終えた。 (参加した公運審委員の意見)</p> <p>○委員：</p>	

住吉公を使っているサークル会員の意見が集中したが、もっと多様な年齢層の意見もほしかった。駅ビルに入るとのことなので、勤め帰りに利用する可能性のある市民の声も聞きたい。

○委員：

開催の知らせが市報にしか出なかったのは疑問だ。公民館の問題は、公民館だよりを活用すべきだったと思う。どうしても移転するのであれば、建替え後の福社会館の中に、代替の集会室が必要と思った。移転により不便になる人に対して、納得のできる説明がないので反対意見が集中したのではないか。

○委員：

移転でなく、廃止なのではないかという意見が印象的であった。私も、移転という言葉には不具合を感じる。保谷駅周辺の人には喜ぶかもしれないが、去ってしまう地域の人には代替りの集会施設を残す必要があると思う。行政の都合だけでは市民は納得しないと思う。

○会長：

市民に対しての説明をもっと上手に行ってほしい。

### 3. 関東甲信越静公民館研究集会について

○職員：

8月26日、27日に都公連が主管をする公民館大会が開かれる。初日は昭島市民会館。2日目は、各市の公民館を会場にして分科会を開く。西東京の保谷と田無の公民館も会場となる。ぜひ都合をつけて参加してほしい。

合わせて、西東京市としての実行委員会を立ち上げるために、公民館だよりで募集をしたところ、数名の方々が名乗りをあげていただいた。

(質問) 実行委員の役割や手伝える内容は。

(回答) 分科会参加者の道案内や受付。または、西東京の公民館活動の紹介などを考えてはどうかと思っているが、何ができるのかは一度市民と話し合いたい。

(意見) 西東京の紹介は、ロビーに映像を映し出すとか、OA化の推進を標榜するのであれば、OA機器を使った工夫も必要だと思う。

(意見) 実行委員には、運審のメンバーも加わるべきだ。1回目の会合の通知を出してほしい。

※全委員への通知の発送を確認

### (3) 今後の審議内容について

○館長：

これまでのように、事業計画案を1件ずつ審議するのではなく、館長が提案する具体的な審議事項について継続して審議してほしい。

会議方法については、分科会方式も検討したが、会議室の関係などで現実的ではないため、このまま全員で議論をしてほしい。

今後任期中に議論を進めてほしい課題は「公民館主催事業のあり方」についてであるが、広汎にわたるので、具体的には講師派遣事業の方向性について検討してほしい。講

師派遣事業をとおして公民館事業を検証してほしい。まとめについては、文章化してほしい。

(主な意見と質問)

○委員：

審議内容の項目でハッキリしない点もあるが、(1)と(2)で事業内容の考察をして、(3)と(4)で事業の意義やあり方を検討するということになると思う。

○委員：

通知文と一緒に送られてきたものと今回の配布の資料とで文面が違うために理解しづらい。どちらが真意なのか。

○館長：

郵送したものは、参考までに方向性を示したものであり、本日配布した内容で理解してほしい。

○職員：

講師派遣事業は、事業の名称を含めた要綱の改正について議論を進めているところであり、ここでの審議内容を踏まえて、17年度予算にも反映していきたいと思っている。過去は通常2年で一本のペースで諮問・答申ということになっていたのではないかと思うが、残任期間は1年なので忙しくなると思うが、職員としても期待が大きい。

○委員：

審議する内容はこのテーマで異論はないが、毎回このことだけで終わるわけではないと思う。各種の報告もあろうし、送られてくる事業計画案の疑問点を述べる場も確保されているのか。

○会長：

メインのテーマとしては、配布の審議事項で話し合うということで確認をして、これ以外の審議方法について意見を聞きたい。

○委員：

公民館だよりを市外に住む委員宅には必ず送付してほしい。

○委員：

事業計画ばかりでなく、事業報告も出すことは可能か。

○職員：

旧田無地区館ではその都度事業が終わると報告書を提出していた。旧保谷地区館では1年分まとめて報告集を作って配布していた経過がある。

○委員：

反省点はその場で指摘しなければ効果が薄い、見る側も1年前の事業の報告を確認しても、企画との比較もできないのではないか。

○委員：

毎年行われる事業などであれば、前年との比較や反省に立った改善点などを記入してくれば、企画書を見た段階の判断材料になる。そうした項目を加えてほしい。

○委員：

田無と保谷の公運審の審議方法が異なっていたための矛盾点だと思うが、やはり事業の企画と結果報告を見比べて初めて評価が下せるのではないかと思う。

○委員：

書面での審査を事細かに掘り下げていくのがこの会の趣旨ではないと思う。

○会長：

大半の委員とも、事業の結果、報告を求めていきたいという意見のようなので、その都度報告書も作成して提出をしてほしい。ただし、1件ごとの審議は控えたいと思う。

○職員：

継続事業の記載方法については、どのようにするのがよいということなのか。

○委員：

昨年とこんなところが違っているとか、反省を踏まえた改善点などを記載してほしい。

○委員：

事業目的を記入する欄にでもその旨記載してはどうなのか。例えば、昨年も好評だったので再度実施した、などということだと思う。

○委員：

事業計画を審議する時間がないというが、質問項目を事前通告して回答を求める方法などがあるのではないか。

(4) 次回の日程について

6月23日（水曜日） 18時30分

田無公民館に於いて